



家畜保健衛生所だより

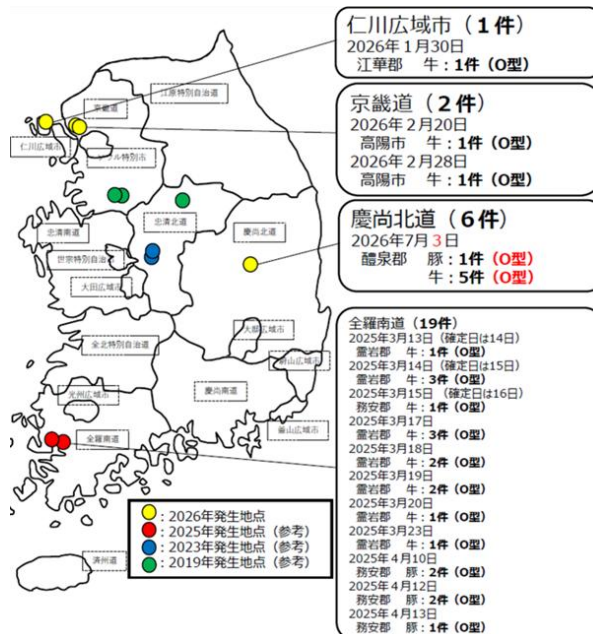
R8.7.6

△韓国で口蹄疫が発生しました△

7月3日、韓国中部の慶尚北道の牛及び豚で新たに口蹄疫が発生しました。2026年1月及び2月に確認されて以来、約4か月ぶりの発生となります。

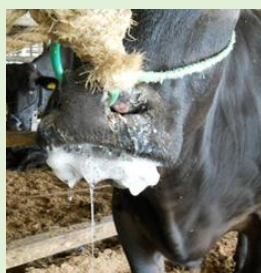
韓国は松山空港への直行便が就航しているため、特に中予地域では本病の侵入リスクが極めて高い状況にあります。

このため、消毒の徹底等による衛生管理を強化し、家畜に異常が認められた場合は速やかに家保に連絡してください。



ウシ、ブタ、ヤギ、シカなどの偶蹄目動物に、このような症状を引き起こします。

- ・発熱や食欲不振、泡状のよだれ
- ・口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)



発生予防対策を徹底しましょう

☑口蹄疫の発生国への渡航を控える

やむを得ず渡航する場合は、帰国後一定期間、農場や衛生管理区域への立ち入りを控えるなど、防疫対策を徹底してください。また、海外からの肉製品の持ち込みは法律で禁止されています。帰国の際は、畜産物を持ち込まないよう十分注意してください。

☑関係者以外の立入制限、農場に立ち入るすべての人・物の消毒

複数言語で書かれた立入禁止看板を設置するなど、必要ない人の立ち入りや、不要物の持ち込みを防ぐ。

☑消毒の徹底

口蹄疫の対策として効果がある消毒液はヨウ素系、塩素系、アルデヒド系のものや石灰です。逆性石けんやアルコールは効果がありませんので、十分ご注意ください。

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333
携帯 090-6282-6129（夜間・休日）